

主日礼拝

2023年2月19日
午前10時30分

前奏 「われ汝に別れを告げん」 (即興)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「⁸わたしの僕イスラエルよ。
わたしの選んだヤコブよ。
わたしの愛する友アブラハムの末よ。
⁹わたしはあなたを固くとりえ
地の果て、その隅々から呼び出して言った。
あなたはわたしの僕
わたしはあなたを選び、決して見捨てない。
¹⁰恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。
たじろくな、わたしはあなたの神。
勢いを与えてあなたを助け
わたしの救いの右の手であなたを支える。」
(イザヤ書 41:8~10)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも
に、
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。
アーメン。

リタニー 「地球は箱舟」

司式者：正義を洪水のように
恵みの業を大河のように
尽きることなく流れさせよ。(アモス書 5:24)
わたしたちの地球は、
みんな：宇宙に浮かぶ小さな箱舟。
司式者：わたしたちの箱舟は、
みんな：いろんないのちを育てます。
一緒に：平和こそ箱舟への贈り物です。
司式者：武器を捨てて聞き合い、
日毎の糧を分かち合えるように、
みんな：どうぞわたしたちの心に道をひらいてください。
司式者：あなたの正義が流れ出し、
愛の業があふれるように。
みんな：どうぞわたしたちの心に道をひらいてください。
司式者：箱舟のキャプテンであるイエスさまによって、
一緒に：アーメン。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ルカによる福音書 9:10~17

新約(新共同訳) p121~p122

10 使徒たちは帰って来て、自分たちの行ったことをみなイエスに告げた。イエスは彼らを連れ、自分たちだけでベトサイダという町に退かれた。11 群衆はそのことを知ってイエスの後を追った。イエスはこの人々を迎え、神の国について語り、治療の必要な人々をいやしておられた。12 日が傾きかけたので、十二人はそばに来てイエスに言った。「群衆を解散させてください。そうすれば、周りの村や里へ行って宿をとり、食べ物を見つけるでしょう。わたしたちはこんな人里離れた所にいるのです。」13 しかし、イエスは言われた。「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい。」彼らは言った。「わたしたちにはパン五つと魚二匹しかありません、このすべての人々のために、わたしたちが食べ物を買に行かないかぎり。」14 というのは、男が五千人ほどいたからである。イエスは弟子たちに、「人々を五十人ぐらいずつ組にして座らせなさい」と言われた。15 弟子たちは、そのようにして皆を座らせた。16 すると、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。17 すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二籠もあった。

賛美 486(1,3,4) 「飢えている人と」



① う え て い る ひ と と パ ン を わ か ち あ お う
 ② ち ん も く す る ひ と と こ も に か た り あ お う
 ③ か な し み の ひ と と え あ わ せ う た お う
 ④ と も の な い ひ と と と な り び と に な ろ う
 ⑤ む き り よ く な ひ と と も く て き み い だ そ う



1.~5. あい おしだされて しゅのあとにつづこう

- ① 飢えている人と パンを分かちあおう。
愛に押しだされて 主の後に続こう。
- ② 沈黙する人と 共に語りあおう。
愛に押しだされて 主の後に続こう。
- ③ 悲しみの人と 声合わせ歌おう。
愛に押しだされて 主の後に続こう。
- ④ 友のない人と 隣り人になろう。
愛に押しだされて 主の後に続こう。
- ⑤ 無気力な人と 目的みいだそう。
愛に押しだされて 主の後に続こう。

説教 「ゆだねられる分かち合いの業」

賛美 419(1,2,4) 「さあ、共に生きよう」



① さあとも にい きよ うしゅはこ のじだ いの
 ② さあとも にい きよ うしゅはち をおと ずれ
 ③ さあとも にい きよ うしゅはい のちか けて
 ④ さあとも にい きよ うしゅはう え たもの に
 ⑤ さあとも にい きよ うしゅはせい れいにより



くる し み と な や み を な っ て く だ さ る
 ひ と び と と で あ わ れ き よ う だ い と な っ た
 あ た ら し い じ ゆ う の み ち を し め さ れ た
 そ の み を パ ン と し て あ た え て く だ さ る
 わ か た れ た た み を も ひ と つ と な さ れ

- ① さあ、共に生きよう
主はこの時代の
昔しみと悩みを
担ってください。
- ② さあ、共に生きよう。
主は地をおとすれ、
人々と出会われ、
きょうだいとなった。
- ③ さあ、共に生きよう。
主はいのちかけて、
新しい自由の
道を示された。
- ④ さあ、共に生きよう。
主は飢えた者に
その身をパンとして
与えてください。
- ⑤ さあ、共に生きよう。
主は聖霊により、
分かたれた民をも
ひとつとなされる。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「茨の冠を主にかぶせて」 (即興)

司式 喜多村 文子
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 佐々木 悠

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。